キラリと輝く決算書にするため いまこそ数字にこだわる経営の実行を

経営を行うために必要なこと。それは、数字へのこだわり

いままで300社以上の会社を見てきた中でわかったことがあります。それは、属する業界が不況期であってもコンスタントに利益をたたき出し、キャッシュをプラスにしていく会社というのは、決まって「経営上の数字にこだわる」会社であったという事実です。このような会社はすべて、月次や年次の決算だけでなく、日々の取引の中で発生する発注書や見積書などに対しても、採算意識やコスト意識が高い会社ばかりでした。

ここまで読んで、「数字をベースに経営を行うのは、当たり前であり、自社でも当然、行っている」と感じた経営者の方が多くいるかもしれません。しかし、それを〝徹底して〟行っていますか？と問い直すと、そうでない会社が多いのが現実なのです。

経営上の数字にこだわるというのはつまり、数字に対する根拠をもつこと。そして、なぜこうなったのか？本当にこれでいいのか？などと常に考察をし、修正を加えていくことなのです。たとえば、売上の計画を立てる際、「来期は、恐らくこんなところに落ち着くだろう」と、なんとなく終わらせるのではなく、「これくらいの見込み客と既存客が考えられる。一方、単価は利益を考えると、こうなって……」と、根拠に基づき、〝なんとなく〟を極力排除していきます。こうすることで、根拠のない甘い予測を立てることがなくなり、現実を直視するようになってくるのです。

経営者としてのステージを格段に引き上げるのは、財務視点を身につける時

経営者にとって、会社の創業期はがむしゃらに営業活動を行い、売上を上げていくことが至上命題になります。その際、経営上の数字へのこだわりは、売上であることがほとんどです。しかし、その状態がいつまでも続くものではありません。会社が成長軌道に乗ってからは、売上だけでなく、原価や人件費などのコストを加味した利益がより重要になっていきます。この段階に入ると、経営者に必要なのは、数字へのこだわりを持ちながら、利益を生みだす財務の仕組みを理解することになります。

決算書にこだわりを持つ

経営者にとって必要な財務視点を身につけるためには、自社の決算書は絶対に把握するべきです。そして、決算書の中では

①まずは貸借対照表を重要視し、

②次に損益計算書、キャッシュフロー計算書を重視していきます。

貸借対照表は、樹木が年輪を重ねていくように、会社が設立されて以降の経営活動の結果が蓄積されていくものです。また、損益計算書とキャッシュフロー計算書は、一定期間における損益の成績とキャッシュの動きが表されるもので、期間ごとにリセットされます。さらに、この損益の結果は、リセットされる時に利益または損失として、貸借対照表に蓄積されていきます。

決算書の読みこなしが経営改善につながる

経営改善をするために行うべきことは、まず現状の貸借対照表を見つめ直し、目指すべき貸借対照表はどうあるべきかを考え、そして収益・費用の損益構造を改善していくことです。場合によって、過去の結果の堆積である貸借対照表には、目をつぶりたくなる結果が刻まれているかもしれません。しかし、そこから目をそらしてはいけないのです。

決算書の中には、経営者として行うべきことのヒントが必ず詰め込まれています。細かい会計処理を理解する必要はありません。ただ、そこに記載されている数字には、深い意味が隠されており、たとえば、コスト削減についてはどこから手をつけていくべきかなどの経営課題がわかるものです。今一度、自社の決算書と真剣に向き合ってみてください。

執筆者
藤田 益浩
ふじた ますひろ

アクタスマネジメントサービス株式会社
アクタス税理士法人
マネージャー/税理士・AFP

上場大手電子部品メーカーを経て現職。メーカー勤務時代、支払管理、固定資産管理の業務を経験し、上場企業における組織的、効率的な経理を学ぶ。現職においては、その経験を活かした中小企業の会計・税務のコンサルティング、管理運営マネジメントの業務に携わっている。また、セミナー講師、書籍・専門誌への執筆などにも力を入れている。

アクタスマネジメントサービス株式会社
創業／1989年　**社員数**／136名
業務内容／税務会計、国際税務、相続税、事業承継、企業再生、企業再編、証券化・流動化、経営指導、経理代行、人事労務コンサルティング、システムコンサルティング、人事労務アウトソーシング
URL／http://www.actus.co.jp
TEL／03-3224-8888
Mail／info@actus.co.jp

セミナーのご案内

経営者のための決算書活用講座

日時
2012年7月4日(水)
14時～16時（受付：13時30分～）

会場
アクタスマネジメントサービス株式会社　セミナールーム
〒107-0052 東京都港区赤坂3-2-6 赤坂中央ビル7F

定員
先着20名

料金
無料

セミナー内容
自社の決算書には、経営上、行うべき行動のヒントが詰め込まれています。
決算書を見つめ直すことで、自社の強みを改めて再認識することもできます。
決算書の読み方、活用の仕方を学び、今後の経営に生かすことを目指します。

今回のセミナーのポイント
① 決算書を読みこなすために必要なこと
② 会社の状況を表す3表の決算書
③ 自社の問題点を把握するために必要な分析
④ 決算書を経営にどう生かしていくか

講師
アクタスマネジメントサービス株式会社
アクタス税理士法人　マネージャー/税理士・AFP
藤田 益浩 ふじた ますひろ

セミナー実績
「平成24年 税制改正セミナー」「消費税実務セミナー」「有形固定資産の会計・税務の実務」
「経営者のための節税対策セミナー」

執筆実績
「決算修正の税務～過年度遡及会計基準の影響」（税務弘報）
「法人関係重要項目　適用期日一覧」（旬刊経理情報）

申込方法
Webサイトからお申込みください
http://www.actus.co.jp
セミナーに関するお問い合わせ
0120-459-480
seminar@actus.co.jp
検索はコチラから▶▶▶　アクタスマネジメント　検索